

「成長しない発想」に気を付けよう！

人間は誰も成長する可能性を秘めています。しかしその可能性を一番閉ざしてしまうのは、実は学ぶ環境ではなく自分自身の心の持ち方なのだと思います。

特にすぐに他者や環境を否定し、自分の行動や変化を抑制するタイプのネガティブ発想は成長の最大の敵です。せっかく成長する機会が目の前に現れても、安易に迎合することを恥ずかしいと思い、否定し、チャンスを放棄し、自分は軽薄ではないとってその行動を正当化し、ずっと同じ場所に居続けてしまいます。結果、成長する周囲に差をつけられ、時代に取り残され、やがて「できない人」になっていきます。

逆に、この他者否定型・行動抑制型のネガティブ発想＝成長しない発想をしなくなるだけで、成長のチャンスは大きく広がります。ただそれだけで可能性が広がります。

過去の私自身を振り返ってみても、自分の成長を分けたのは環境を変えたことそのものではなく、「成長しない発想」をやめて「成長する発想」に転換したことだと感じています。私が陥っていたこの「自分らしさ病」に起因する「成長しない発想」とその後の「成長する発想」の違いを、少し整理してみました。

- めんどくさそうだ、やめておこう→面白そうだ、やってみよう
- それをしたら損をするのでは→それをしたら得をするのでは
- どうせ無理→なんとかなるかも
- それは嫌い→それは好きになるかもしれない
- そのことは自分には向いてない→そのことはやるべきだろう
- 参考にならない。無駄だった→何か参考にできることがあるはずだ
- それは自分の役割じゃない。関係ない→自分の周りのことはできるだけ知っておこう
- 流行に乗るなんて恥ずかしい→流行ってるのはなぜだろう？何か理由があるのでは？
- 簡単に動かない、変わらない自分は冷静沈着でクレバーだ→何か行動しないとまずい
- もうできない→まだやれる
- 失敗例があるから、やらない方が利口だ→成功例があるから、できるかもしれない